

学ぶひととき、  
学ぶひとたち  
を応援します。

# まなぶひと



—伊達の跡・伊達の品—

# まなぶひと

2018  
2 月号  
Vol. 027

## ■ごあいさつ

—東北大学 まなび情報誌「まなぶひと」—

大学は学生や研究者のためのもの、と思っははいませんか？実はそうでもありません。東北大学は、さまざまな分野での研究成果や保有する資産・空間を、地域のみなさまと広く共有したいと考えています。

そこで生まれたのが、この「まなぶひと」。

東北大学が実施しているさまざまな公開講座、講演会、コンサート、企画展や公開施設など、地域のみなさまに広くご参加、ご来場いただきたいイベント情報等をお届けいたします。

「まなび」を愛するみなさまの「まなぶひととき」にお役立ていただければ、幸いです。

## ■もくじ

1. ごあいさつ	2
2. 社会のなかの東北大学	3
3. 特集 仙台城跡二の丸（川内キャンパス）出土遺物	4
4. イベントカレンダー	6
5. イベント詳細情報	10
6. キャンパスマップ	19

表紙：仙台城跡二の丸出土第9地点出土品  
[左上・右下：肥前焼（江戸時代後半）]  
[右上・左下：唐津焼向付（江戸時代初期）]

# 社会のなかの東北大学

## ■暮らしの中に生きる、身近な東北大学を目指して。

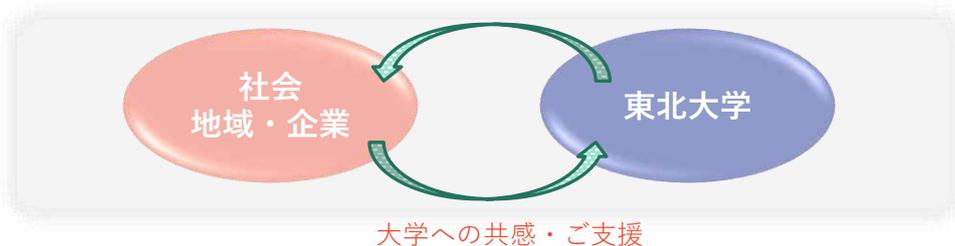
大学の使命はまず、教育・研究を通じて社会に有意な人材を輩出し、最新の研究成果を生み出していくことですが、もう一つ、大切な使命があります。それは地域社会との連携です。

東北大学は日本を代表する大学であるべきと同時に、東北、宮城、そして仙台に深く根付いた、地域のみなさまに身近な大学でなければなりません。

実践的なフィールドワーク、社会のニーズに応じたテーマの講義、またさまざまな文化事業などの社会連携活動を積極的に推進し、地域のみなさまに寄り添い、ご支援をいただけるよう努めていきたいと考えています。

みなさまの暮らしの中でもともに歩み続ける東北大学に、どうぞご期待ください。

大学の教育・研究成果の還元・共有



## ■東北大学における主な社会連携事業



### 公開講座・講演会

- 市民のためのサイエンス講座
- 東北大学レクチャーシリーズ
- サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン



### 地域連携

- 中高生校職場体験、学校訪問
- 仙台七夕花火祭
- アカデミックツーリズム



### 文化事業

- 川内萩ホールフォーシーズンズ・プログラム
- からひらロビーミニコンサート
- ミュージックプログラム
- 歴史的資産の保存・公開 など



### コンベンションの推進

- コンベンション誘致に関する窓口の設置
- コンベンション開催、学校等主催行事への供与
- 百周年記念会館川内萩ホールの運営



### 出前授業

- 減災ポケット「結」プロジェクト
- 楽しい理科の話
- サイエンスデイ



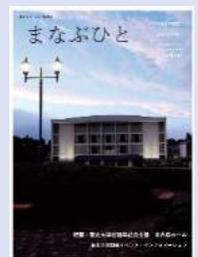
### 施設公開

- 東北大学史料館
- 総合学術博物館・理学部自然史標本館
- 東北大学植物園
- 東北大学附属図書館

## Web まなぶひと

東北大学の web ページからも「まなぶひと」をご覧ください。

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/social/relation/04/relation0401/>



# — 伊達の跡・伊達の品 —

川内キャンパスは、国指定史跡仙台城跡に隣接する重要な場所として、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）に指定されています。この場からは、縄文・弥生時代の土器や石器、古代の瓦なども出土しますが、中でも数多く出土するのが、伊達政宗の時代以降に使用されていた陶磁器などの生活用品です。それもそのはず、川内南キャンパスには、伊達政宗の娘の五郎八姫の屋敷や、二代藩主伊達忠宗により造営された二の丸、また川内北キャンパスには武家屋敷が建てられていました。

政宗の時代には、城は山城としての機能が重視され、政治や儀式的中心は山の上の本丸で執り行われていましたが、幕藩体制の安定とともに政治の中核機能は二の丸へと移り、以後約 230 年の永きに渡り二の丸は藩の政治と文化の中心地となりました。

政宗公生誕 450 年の節目に当たる今年度、その貴重な出土品を直に目にすることが出来る展示が行われています。数百年の年月を経ても色褪せない品々の魅力に触れ、伊達家ゆかりの人々の生活に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



【写真】仙台城跡二の丸第 17 地点出土肥前磁器。出土する磁器は肥前焼のほか、中国からの輸入品も。（会場①にて展示）



二の丸跡からは基石、将棋の駒、竹とんぼ、土人形など玩具も多く出土。土人形では雛人形などの節句人形、犬や猫などの動物、七福神や狛犬など縁起物などがみられる。子供の守り神や縁日での土産などとして作られたという説も。志野焼の南蛮人人形は、類例のない非常に貴重なもの。手足が欠けているため用途はわからないが、燭台などの可能性が考えられるという。

【写真】仙台城跡二の丸第9地点出土土人形（左：猫、中上：犬、中下：猪）、志野焼南蛮人人形（右）（いずれも会場①にて展示）



【写真】仙台城跡二の丸第9地点出土陶器。江戸時代後半に使用されていた京焼<sup>さびえ</sup>。錆絵や色絵で繊細な文様が描かれる。緻密な素地と卵黄色気味の釉は京焼の特徴。艶を失わない表面に走る貫入も美しい。肥前や大堀相馬などの陶器窯では、高級品である京焼を模倣した製品が作られることもある。（会場②にて展示）



①川内キャンパスのむかしむかし  
～仙台城跡二の丸～

詳しくは 1 38 の ≪①②いずれも入場無料≫  
チラシをご覧ください。

【会場】東北大学史料館（片平キャンパス内）  
【会期】2018年1月15日（月）～2月9日（金）10:00～17:00  
月曜日～金曜日（祝日を除く）

②かわうち今昔ものがたり

【会場】東北大学百周年記念会館 川内萩ホール展示ギャラリー  
（川内キャンパス内）

【会期】常設展示 9:30～17:00（火曜日休館）

※イベント開催時は展示を見学できない場合があります。  
詳しくは川内萩ホールまでお問い合わせ下さい。【TEL】022-795-3391



## 2018.1.30 ~ 2018.3 東北大学関連 イベントカレンダー

区分	開催日	イベント名	会場	時間	問合わせ先・その他
企画展 【申込不要】 	1/15(月)- 2/9(金)	<b>1</b> 東北大学創立 110 周年記念 ・伊達政宗公生誕 450 年記念 「川内キャンパスのむかしむかし」 「～仙台城跡二の丸～」	東北大学史料館  ■片平キャンパス	[平日] 10:00-17:00 (祝日を除く)	埋蔵文化財調査室 TEL:022-217-4995 無料
公開講座 【募集中】 	1/25(木)- 3/28(水)	<b>2</b> 東北大学 MOOC「東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ-災害科学の役割」	オンライン		オープンオンライン教育開発推進センター secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp 無料
公開講座 【申込不要】 	1/30(火)	<b>3</b> 公開ワークショップ 「日中文化交流における『モノ』『ヒト』『コト』」	川内北キャンパス マルチメディア棟 6F ■川内キャンパス	13:30- 17:00	国際文化研究科 朱琳研究室 lin.zhu.e7@tohoku.ac.jp 無料
公開講座 【申込不要】 	1/30(火)	<b>4</b> 第 5 回東北大学病院 肝臓病教室「肝硬変について ～いろいろな症状に対する新しい治療～」	東北大学病院外来診療棟 1階がんサーボード室 ■星陵キャンパス	15:00-16:00	東北大学病院 肝疾患相談室 TEL:022-717-7031 無料
公開講座 【申込不要】 	1/31(水)	<b>5</b> 講演会「東アジアのなかの中国絵画史一価値観と歴史性の創造と変革」	川内北キャンパス 講義棟 C 棟 2 階 C 201 教室 ■川内キャンパス	13:00-14:30	国際文化研究科 朱琳研究室 lin.zhu.e7@tohoku.ac.jp 無料
公開講座 【募集中】 	2/2(金)	<b>6</b> 災害復興新生研究機構 シンポジウム「震災復興と創造・変革の先導を目指して」	<東京> 有楽町朝日ホール (有楽町マリオン 11F)	13:00-17:00 12:00-受付	災害復興新生研究機構 企画推進室(総長室) TEL:022-217-5009 無料/定員 500 名 web,FAX 申込
公開講座 	2/3(土)	<b>7</b> 学都仙台コンソーシアム サテライトキャンパス公開講座 『講座仙台学 2018』 ①「仙台のスポーツとボランティア」 ②「仙台の地名と災害」	仙台市市民活動 サポートセンター 6階セミナーホール	①10:30-12:00 ②13:00-14:30	教育・学生支援部 教務課教育支援係 TEL:022-795-4933 ※要問合せ(締切済み)
上映会 【申込不要】	2/3(土)	<b>8</b> 第 9 回映画上映会 ”不可視の隣人たち”: 『かぞくのくに』	川内北キャンパス マルチメディア棟 6F  ■川内キャンパス	<映画紹介・上映> 13:30- <解説・討議> 15:40-	国際文化研究科 寺本成彦研究室 naruhiko.teramoto.c1@tohoku.ac.jp 無料
公開講座 【募集中】 	2/3(土)	<b>9</b> 東北講演会 「仙台藩の戊辰戦争」	片平さくらホール  ■片平キャンパス	14:00-15:30 [懇親会] 15:40-	一般社団法人学士会事業課 TEL:03-3292-5955 講演会:無料/懇親会:3千円 定員:120名/E-mail 申込
公開講座 【申込不要】 	2/6(火)- 7(水)	<b>10</b> 東北大生がつなぐ ハワイと宇宙 2018	せんだいメディア テーク オープン スクエア	13:00-20:00	学際科学フロンティア研究所 助教:田中幹人 Tel:022-795-6608 無料

詳細は P12 からの詳細情報、同じ番号のチラシをご覧ください。

区分	開催日	イベント名	会場	時間	問い合わせ先・その他
公開講座 【募集中】 	2/7(水)	<b>11</b> COI 東北拠点シンポジウム 「202X 年の健康幸福社会を実現する データ・インテグレーション」	<東京>COREDO 室町3 室町ちばぎん三井 ビルディング 8 階	13:00- 12:00 開場	イノベーション戦略 推進センター事務支援室 TEL:022-752-2186 会費:4 千円 定員 150 名/E-mail 申込
講演会 【募集中】 	2/7(水)	<b>12</b> 東証 IPO セミナー in SENDAI Entrepreneur Week	<セミナー> 金属材料研究所 2 号館 1F 講堂 <懇親会> レストラン萩	[セミナー] 14:00-17:05 13:30 受付 [懇親会] 17:15-18:30	産学連携機構 TEL:022-217-6045 セミナー無料/定員 100 名 懇親会費:2 千円 web,FAX 申込 申込締切:1/31
公開講座 	2/7(水), 2/21(水), 3/7(水)	<b>13</b> せんだい環境学習館連続講座 「環境科学がよくわかる、 ディスカッション！」	たまきさんサロン (環境科学研究科本館) ■青葉山キャンパス	18:30-20:30	せんだい環境学習館 たまきさんサロン TEL:022-214-1233 ※要問合せ(締切済み)
公開講座 【申込不要】 	2/9(金)	<b>14</b> CNEAS 公募型共同研究 ワークショップ「東北アジ ア先史『石』文化への学際 的視点」	川北合同研究棟 1 階 CAHE ラウンジ ■川内キャンパス	13:00-17:00	文学研究科熊谷亮介 ryosuke.kumagai.q1 @dc.tohoku.ac.jp 無料
公開講座 【募集中】 	2/10(土)	<b>15</b> 災害科学国際研究所 シンポジウム「歴史が導く 災害科学の新展開」	災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール ■青葉山キャンパス	13:00-17:00	災害科学国際研究所 災害文化研究分野 TEL:022-752-2146 無料 web 申込,当日参加可
公開講座 【申込不要】 	2/10(土)	<b>16</b> 東北アジア研究センター 公開講演会 玉 (Gyoku) 一 その起源と東北アジア先史 の「石」文化一	川内キャンパス 講義棟 B 棟 200 号教室 ■川内キャンパス	14:00-17:00 13:30 開場	東北アジア研究センター事務局 TEL:022-795-6009 無料
公開講座 【申込不要】 	2/10(土)	<b>17</b> 学術成果公開シンポジウム 「震災復興における民俗芸 能の役割と継承」	郡山女子大学芸術館	14:00-17:00	[会場について] 郡山女子大学/一柳智子 t.ueno@koryama-kgc.ac.jp [内容について] 東北大学/大石侑香 yuka.oishi.d3@tohoku.ac.jp 無料
企画展 【申込不要】 	2/16(金)- 3/20(火)	<b>18</b> 星寮のおひなさま	東北大学史料館 ■片平キャンパス	[平日] 10:00-17:00 (祝日を除く)	東北大学史料館 TEL:022-217-5040 無料
公開講座 【申込不要】 	2/17(土)	<b>19</b> シンポジウム 「『東北の近代と自由民権 一「白河以北」を越えて』 が問いかけるもの」	川内北キャンパス 講義棟 C 棟 200 号教室 ■川内キャンパス	13:00-17:00	東北アジア研究センター 友田昌宏 TEL:022-795-3140 無料
公開講座 【募集中】 	2/18(日)	<b>20</b> 情報科学研究科シンポジウム 「『情報科学』から『交通 ネットワーク』を考える」	情報科学研究科棟 2 階 大講義室 ■青葉山キャンパス	13:00-17:00 12:30 受付	情報科学研究科総務係 TEL : 022-795-5813 is-somu@grp.tohoku.ac.jp 無料/先着 150 名 web 申込可

区分	開催日	イベント名	会場	時間	問い合わせ先・その他
コンサート 【申込不要】 	2/18(日)	<b>21</b> 学友会応援団第二回定期演奏会	仙台銀行ホール イズミティ 2 1 小ホール	14:00 開演 13:30 開場	学生支援課活動支援係 TEL:022-795-3983 無料
コンサート 【発売中】 	2/18(日)	<b>22</b> 川内萩ホール フォーシーズンズ・プログラム 2017 - 2018 vol. 4 「山田和樹指揮 東京混声合唱団」	川内萩ホール  ■川内キャンパス	15:00 開演 14:30 開場	河北新報社企画事業部 TEL:022-211-1332 S 席:5,200 円 A 席:4,500 円 大学生以下:3,000 円 ※萩友会プレミアム会員割引あり
公開講座 【申込不要】 	2/23(金)	<b>23</b> 第 149 回サイエンスカフェ 「宇宙に響くさえずりと ジオスペース」	せんだいメディア テーク	18:00-19:45	広報課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象
公開講座 【申込不要】 	2/23(金)	<b>24</b> 第 52 回 IRiDeS 金曜フォーラム 「南海トラフ地震の予測可能性と社会対応」 ※チラシなし	災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール  ■青葉山キャンパス	16:30-18:30	災害科学国際研究所広報室 TEL:022-752-2049 無料
公開講座 【募集中】 	2/23(金)	<b>25</b> 第 13 回からだの教室 「オトコだって悩んでます！ 不妊治療のホンネ」	SENDAI KOFFEE CO. (青葉区春日町 4- 25 パストラルハ イム春日町 1F)	19:00-20:30 18:30 開場	東北大学病院 広報室 「からだの教室」担当 TEL:022-717-7149 無料/定員 25 名 web 申込/締切:2/2
公開講座 【募集中】 	2/24(土)	<b>26</b> 福島大学うつくしまふくしま 未来支援センター仙台シンポジウム 「ほんとの空が戻る日まで -震災の記録と教訓を残し、未来に活かす-」	片平さくらホール  ■片平キャンパス	13:00-17:30	うつくしまふくしま 未来支援センター事務局 TEL:024-504-2865 無料/定員 150 名 FAX,web 申込
公開講座 【申込不要】 	2/25(日)	<b>27</b> サイエンスリンク in 仙台	片平さくらホール  ■片平キャンパス	10:00-16:00	サイエンスリンク in 仙台実行委員会 sc.link.sendai@gmail.com 無料
公開講座 【申込不要】 	3/2(金)	<b>28</b> 第 51 回リベラルアーツサロン 「フランス近代詩を読む～ ボードレールからの出発～」	片平北門会館 2 F エスパス  ■片平キャンパス	18:00-19:45	広報課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 受講料無料/1Drink 付 ※サイエンスカフェポイント対象
公開講座 【申込不要】 	3/3(土)	<b>29</b> 公開シンポジウム 「東アジアの大学における 特色ある英語教育サポート システムー香港と日本の例からー」	教育・学生総合支援 センター東棟 4 階 大会議室 ■川内キャンパス	13:00-17:00	国際文化研究科 江藤裕之研究室 hiroyuki.eto.d6@tohoku.ac.jp 無料/定員 50 名程度
その他 【募集中】	3/4(日)	<b>30</b> 東北大学 111 周年 /関西萩友会 11 周年記念 萩友会関西交流会	ホテルグランヴィア大阪 大阪府北区梅田 3 丁目 1 番 1 号	13:30-17:30 13:00 開場	総務企画部広報課校友係 TEL:022-217-5059 無料/web 申込 締切:2/21-17 時

詳細は P12 からの詳細情報、同じ番号のチラシをご覧ください。

区分	開催日	イベント名	会場	時間	問い合わせ先・その他
公開講座 【募集中】 	3/9(金)	<b>31</b> 理学部キャンパスツアー ぶらりがく「津村耕司先生 の観望会」	理学研究科 <b>※当選者にのみ 詳細連絡</b> ■青葉山キャンパス	18:30-19:30	理学研究科・理学部 広報・アウトリーチ支援室 TEL:022-795-6708 無料/web 申込 定員 30 名[抽選] 中学生以下要同伴
公開講座 【募集中】 	3/10(土)	<b>32</b> 『かたりつぎ』朗読と 音楽のタベ	多賀城市文化センター 大ホール	14:00 開演 (16:00 終演予定) 13:00 開場	災害科学国際研究所 災害アーカイブ研究分野 TEL:022-752-2099 無料/申込先着順 申込締切:2/20 消印有効
公開講座 【募集中】 	3/11(日)	<b>33</b> 東日本大震災 7 周年シンポジウム 「地域社会に開かれた災害 研を目指して-地域ニーズに 基づいた実践的研究の蓄積・ 展開・社会実装-」 <b>※チラシなし</b>	災害科学国際研究所 1 階多目的ホール ■青葉山キャンパス	13:00-17:00 12:30 受付	災害科学国際研究所 広報室 TEL: 022-752-2049 無料/定員 150 名 メール・TEL・FAX・ はがき・web より申込 締切:3/2
その他 【募集中】	3/14(水)- 3/16(金)	<b>34</b> 機械・知能系 研究室公開 2018 <b>※チラシなし</b>	工学部機械・知能系 ■青葉山キャンパス	10:00-12:00 13:00-17:00	機械系広報推進室 TEL:022-795-4043 無料/web 申込
公開講座 【申込不要】 	3/16(金)	<b>35</b> 第 150 回サイエンスカフェ 「追跡！体内の薬のゆくえ ～機能画像からはじまる未来医療～」	せんだいメディア テーク	18:00-19:45	広報課社会連携推進室 TEL:022-217-5132 受講料無料/1Drink 付 <b>※サイエンスカフェポイント対象</b>
公開講座 【募集中】 	3/18(日)	<b>36</b> 未来科学技術共同研究 センター サイエンスカフェ 「やってみても分からない。 教科書問題は理科・数学に も一杯」 <b>※チラシなし</b>	東北大学カタール サイエンスキャンパス ■青葉山キャンパス	13:30-15:30	未来科学技術共同研究センター 教授 川添良幸 TEL:022-795-3670 無料/メール申込 kawazoe-sc @niche.tohoku.ac.jp 定員 300 名/締切:3/15
コンサート 【発売中】 	3/24(土)	<b>37</b> 東北大学川内萩ホール Classical Wave「オーケス トラで歌うエバーグリーン コンサート」	川内萩ホール ■川内キャンパス	17:00 開演 16:00 開場	エフエム仙台サウンズ TEL:022-265-7716 一般:4,800 円 萩友会:3,800 円 学生:2,500 円
企画展 【申込不要】 	常設	<b>38</b> かわうち今昔ものがたり	川内萩ホール 展示ギャラリー ■川内キャンパス	火曜休館	川内萩ホール TEL:022-795-3391 無料

※当該記載事項は、1 月 25 日現在の情報です。記載内容等に変更がある場合もありますので、詳細については、別添のチラシを参照するか、問い合わせ先にご確認ください。  
 ※萩友会のプレミアム会員は、割引価格でチケットを購入、また東北大学の一部施設への入館・入園料が無料になります。萩友会への加入方法や割引特典等の詳細は、「萩友会」で検索していただくか、東北大学萩友会（022-217-5059）までお問い合わせください。  
 ※博物館・植物園の窓口では萩友会会員証をご提示ください。  
 ※開催日が迫っているもので申し込みが必要なものは、すでに募集を締め切っている場合がありますので、必ず問い合わせ先にご確認ください。また、募集期間が過ぎているものでも、定員に余裕がある場合は、参加申し込みを受け付ける場合がありますので、問合せ先にご確認ください。



### サイエンスカフェポイントとは？

東北大学が主催するサイエンスカフェ・リベラルアーツサロンでは、参加するごとにポイントがたまり、獲得ポイントに応じて東北大学オリジナルグッズをプレゼントしています。  
 ポイントカードはサイエンスカフェ・リベラルアーツサロンの受付にてお配りしています。  
 ぜひご活用ください！

「はぎともかい」？いいえ、「しゅうゆうかい」です。  
会員になるととってもお得なサービスがあるんですよ。  
東北大学を応援する人なら誰でも入れるんですって。

### ▶とってもお得な特典(一部)

野球観戦チケット・映画チケットを割引販売  
市内のホテルや大学施設を優待価格で提供  
東北大学の講演会等のイベント情報をご案内

まだまだお得がもりだくさん。  
詳しくは校友会のホームページで  
見てみてね。

東北大学校友会 | 検索



いつまでも、東北大学を身近に。

## 東北大学校友会

TEL:022-217-5059(東北大学広報課校友係内)



減災教育支援



修学支援



研究教育支援



就労・育児支援  
(保育所整備)

育てる。  
つながる。  
次の世代へ—

## 東北大学基金

つなぐ ご意思

TEL:0120-279-514  
(通話料無料)

### <ご寄附の方法>

クレジットカード決済・郵便振替・銀行振込

※東北大学基金へのご寄附は税制上の優遇措置を受けられます。

東北大学基金 | 検索



# 東北大学関連 イベント詳細情報

2018.1.30～

各イベントのチラシをほぼ開催日順に掲載しています。  
掲載事項（開催日時、イベント名、会場など）は  
変更になる場合があります。  
詳細は各お問い合わせ先にご確認ください。

**1**

**巡回展示決定!**  
**東北大学創立110周年・伊達政宗公生誕450年記念**  
**川内キャンパスのむかしむかしI**  
**～仙台城跡三の丸～**  
 これまでの発掘調査の成果を紹介

会期：2018年1月15日(月)～2月9日(金)  
 10:00～17:00  
 月曜日～金曜日 **入場無料**  
 (祝日、夏期休業日、年末年始除く)

会場：東北大学史料館  
 (仙台市青葉区片平2-1-1片平キャンパス内)



川内キャンパスは、江戸時代には南側が仙台城跡二の丸、北側が武家屋敷として使用されてきました。そして、この土地は、明治時代になると陸軍第二師団が駐屯し、終戦後には米軍が進駐した後に、大学のキャンパスとなりました。

また、江戸時代以前の痕跡はあまり多くはないのですが、縄文土器や弥生土器、石器、古代の瓦片等の古い時代の遺物も確認されています。中世には、川内キャンパス周辺一帯を含めた土地が、霊場「青葉山」として板碑が建立され、寺院などが建設された可能性が高いものと考えられています。これらのことから、川内キャンパスが位置する場所は、先史時代から継続して使用されてきたことがわかります。

今回の展示では、川内南キャンパスに焦点を当て、建物が建設される際等に行われる埋蔵文化財の発掘調査の概要を紹介することにより、このような歴史的環境の一端を紹介します。初めて公開される資料も多数ありますので、この機会にご覧頂ければと思います。



お問い合わせ先  
 東北大学埋蔵文化財調査室 電話 022-217-4995 FAX 022-217-5103  
 web <http://web.tohoku.ac.jp/maibun/>

**2**

Online Learning  
**TOHOKU UNIVERSITY MOOC**

**Action oriented Reserch on Disaster Science**

**25 January, 2018** Free Online Course  
 ※In Japanese Only

**防実 災践 学的**

東日本大震災の教訓を活かした  
**実践的防災学へのアプローチ**  
**災害科学の役割**

オンラインで学ぶ  
**東北大学MOOC**

**受講無料**

東日本大震災の教訓を活かした  
**実践的防災学へのアプローチ**  
**- 災害科学の役割**

2018年1月25日開講 **どなたでも受講可能**

※JMOOC公認プラットフォーム gaccoへの登録(無料)が必要です  
 東北大学オープンオンライン教育開発推進センター  
<https://mooc.tohoku.ac.jp/> [secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp](mailto:secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp)

東北大学 MOOC

**3**



**公開ワークショップ**  
**日中文化交流における**  
**「モノ」・「ヒト」・「コト」**

日時：  
 2018年1月30日(火)  
 13:30～17:00

会場：川内北キャンパス  
 マルチメディア教育研究棟  
 6F大ホール  
 参加無料・申込不要

総合司会：  
**朱 琳 (東北大学)**

登壇者：  
**内山 籬 (内山書店)**  
**稲畑耕一郎 (早稲田大学)**  
**塚本 廣充 (東京大学)**

全体討論：  
**三浦 秀一 (東北大学)**  
**佐竹 保子 (東北大学)**  
**勝山 稔 (東北大学)**

主催：学際研究重点プログラム「世界発信する国際日本語・日本語研究拠点形成」(代表：小野 尚之)

お問い合わせ先：  
 国際文化研究科 朱琳研究室  
 <lin.zhu.e@tohoku.ac.jp>

**東北大学 MOOC 修了条件クリアで修了証を発行**  
※事前にJMOOC公認プラットフォーム gaccoの登録(無料)が必要です。

**東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ**  
**- 災害科学の役割 (東北大学サイエンスシリーズ)**

東日本大震災による被害と教訓、復旧と復興の現状、解明されつつある過去の履歴と将来予測を紹介します。国際的な防災取り組み、伝承に挑む活動、避難訓練の事例を通じて実践的防災学の事例を紹介します。

東北大学 災害科学国際研究所 津波工学 <b>今村文彦</b> 教授	第一週 東日本大震災前の取組と被害実態 —事前対策と事中共対応—	東北大学 災害科学国際研究所 地質学 <b>後藤和久</b> 准教授
災害情報 災害伝承 災害復興 <b>佐藤翔輔</b> 准教授	第二週 被災地での復旧と復興 —人間・社会科学的な側面—	津波工学 防災・危機管理 <b>安倍 祥</b> 助手
	第三週 地震・津波のメカニズムと履歴・将来予測 —自然科学と防災への役割—	
	第四週 実践的防災学と国際防災戦略 —次への備え—	

**2018年1月25日開講**  
**受講登録受付中**

東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、また多発する国内外での自然災害の発生を受けて、自然災害対策・災害対応策や市民・社会の自然災害への処し方そのものを見直す必要があります。社会の変遷の中、災害や影響自体も変化しており、様々な災害の被害軽減に向けて社会の具体的な問題解決を指向する実践的防災学の礎を築くことが重要です。

その基礎となる災害科学は、事前対策、災害の発生、被害の波及、緊急対応、復旧・復興、将来への備えを一連の災害サイクルととらえ、それぞれのプロセスにおける事象を解明し、その教訓を一般化・統合化することです。

本講座では、東日本大震災における調査研究、復興事業への取り組みから得られる知見や、世界をフィールドとした災害科学研究の成果を社会に組み込み、複雑化する災害サイクルに対して人間・社会が賢く対応し、苦難を乗り越え、教訓を活かしていく社会システムを構築するための試行を紹介いたします。

講座は4つの構成で形成されており、各専門の教員が最新の知見や様々な知識・情報を提供します。第1週では、事前の取り組みの紹介も入れた被害実態と今後の教訓を概説し、第2週では、人間・社会科学的な側面を入れた被災地での復旧と復興を紹介します。第3週で、自然科学と防災への役割に視点を置きながら地震・津波のメカニズムと過去の履歴さらに将来予測についての研究事例を紹介します。最後に、仙台市で開催した2015年国連防災世界会議での議論と仙台防災枠組の取り組み、防災啓発・防災教育の現状、記録・伝承に挑む取り組み、被災地での避難訓練事例などを紹介して実践的防災学の事例と将来を議論します。

なお、本講座は「東北大学サイエンスシリーズ」の第2弾です。

**「男と女の文化史」受講登録準備中**  
(東北大学で学ぶ高次元教育シリーズ)

東北大学大学院文学研究科  
**高橋章則** 教授  
**嶋崎 啓** 教授  
**芳賀京子** 教授  
**横溝 博** 准教授

2018年5月開講(予定)

**受講登録はコチラ(無料)**

QRコードまたは下記で検索

**東北大学 MOOC**

※受講にはインターネット接続が可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要です。



## 第5回 東北大学病院 肝臓病教室のお知らせ

このたび、肝臓の病気をお持ちの患者さんとそのご家族などを対象に肝臓病教室を開催いたします。ご興味のある方はどなたでもお気軽にご参加下さい。



日時：2018年1月30日(火)

15時00分～16時00分

場所：東北大学病院外来1階 キャンサーボード室

テーマ「**肝硬変**について

～いろいろな症状に対する新しい治療～

講師：東北大学病院 消化器内科

梅津 輝行 先生

ご参加いただいた方からのご質問にお答えするコーナーや、お話し合いの機会も設けたいと思います。

問い合わせ先：022-717-7031 (肝疾患相談室)



## 講演会

# 東アジアのなかの中国絵画史 —価値観と歴史性の創造と変革—

日時：2018年1月31日(水)  
13:00-14:30

場所：東北大学  
川内北キャンパス  
講義棟C棟2階C201室  
参加無料・申込不要

講師：

塚本 磨充

(東京大学東洋文化研究所・准教授)

主催：

東北大学大学院国際文化研究科

お問い合わせ先：

朱琳研究室 lin.zhu.e7@tohoku.ac.jp



## 東北大学災害復興新生研究機構シンポジウム

# 震災復興と創造変革の 先導を目指して

### プログラム

- 13:00 開会挨拶
- 13:05 来賓挨拶
- 13:10 **震災復興を越えて創造と変革を先導する指定国立大学へ**  
東北大学総長 里見 進
- 13:30 **震災復興の取組 これまでの歩みとこれから**  
東北大学災害復興新生研究機構長 原 信義
- 13:50 **世界トップレベルの「災害科学」研究拠点の形成**  
災害科学国際研究所プロジェクト 災害科学国際研究所所長、災害復興新生研究機構副所長 今村 文彦
- 14:30 **安全・安心な社会実現のために：福島第一原子力発電所廃炉への貢献**  
原子力安全・保安院プロジェクト 原子力安全・保安院副所長 渡邊 量
- 休憩(20分)
- 15:20 **東北から「未来型産業」を先導する 世界有数の総合バイオバンクの構築と展開**  
地域産業再構築プロジェクト 東北メディカル・メガバンク機構 東北メディカル・メガバンク機構長 山本 雅之
- 16:00 **ミニコンサート 「被災地に響ける歌謡 ～ともに歩こう～」**  
シンガーソングライター 時miki 氏
- 16:55 閉会挨拶

平成30年

2月2日(金)

13:00～17:00 (受付開始時間 12:00～)

500名【参加費無料】

有楽町朝日ホール

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町朝日11F

主催：東北大学 後援：文部科学省

<http://www.idrrr.tohoku.ac.jp/sympo2018/>

お問合せ 東北大学災害復興新生研究機構 企画推進室(総長室) TEL:022-217-5009 E-mail:skk-som@grp.tohoku.ac.jp



## 講座仙台学2018

-仙台の過去・現在・未来-

受講料  
無料

東北大学の2月開講講座のご案内

日時・講座名・講師	内容	定員
2月3日(土) 10:30～12:00 仙台のスポーツとボランティア 多元物質科学研究所 村松 淳司 教授	東京オリンピック・パラリンピックまで2年。仙台のスポーツボランティアが最高のホスピタリティで多くの外国人を迎えています。その仙台のスポーツについて解説します。1999年ベガルタ仙台・Jリーグ加盟、2001年国体・障害者スポーツ大会開催、2002年日韓ワールドカップ開催・イタリヤキャンプ、2005年プロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルス、同年bjリーグ・仙台89ERS。仙台のスポーツシーンでは常に「する」「みる」「ささえる」の側面がありました。特筆すべき常時1000人以上が活動する仙台のボランティアについて概説します。	80名 先着順
2月3日(土) 13:00～14:30 仙台の地名と災害 災害科学国際研究所 佐藤 健 教授	市民にとって最も身近な地域素材の一つに地名があります。また、東日本大震災以降、地名と災害との関係性の注目が高まっています。重要な震災教訓の一つは、自分たちが暮らす身近な地域の自然条件と人々の生活とのかかりについて歴史を含めて深く理解することです。その学びにあたっては、今は使われなくなった旧地名に特に価値を見出すことができます。改めて、仙台市内の幾つかの地名を具体的に取り上げ、その意味を探究するとともに、得た知識を防災に活かすことを考えます。	80名 先着順
会場：仙台市青葉区一番町4-1-3 仙台市市民活動サポートセンター 6Fセミナーホール	お申し込み方法 EメールまたはFAXに、講座名、氏名(フリガナ)、住所、TEL・FAX番号を記入して、開催日の1週間前までにお申し込みください。受講証を送付します。	
	お申し込み先 東北大学 教育・学生支援部 教務課 教育支援係 E-mail: gsc-sc@grp.tohoku.ac.jp FAX: 022-795-7555 TEL: 022-795-4933 〒980-8576 仙台市青葉区川内41	



11

## COI東北拠点シンポジウム

# 202X年の健康幸福社会を実現する データ・インテグレーション

COI東北拠点「きりげないセンシング」と日常人間ドックで実現する理想自己と家族の絆が通くモチベーション向上社会創生拠点」として5年目に入りました。当初3年間のフェーズ1で基礎技術の研究開発を推し進め、一部成果の社会実装を実現しました。現在のフェーズ2では、異業種の新規参画企業も加わり、フェーズ3における本格的な社会実装に向けた体制作りを着々と進めています。本シンポジウムでは、本拠点のこれまでの活動や今後の取り組みに関する報告や議論を行います。

日時 平成30年 **2月7日(水)**  
13:00~17:00 [12:00開場、受付開始]

会場 **日本橋コレド室町3**  
室町ちばぎん三井ビルディング8階  
日本橋ライフサイエンスハブ 会議室  
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5

定員 **150名** どなたでも参加できます。  
※定員に達した場合は、抽選となります。

【主催】 国立大学法人 東北大学 革新的イノベーション研究プロジェクト  
COI TOHOKU

12

## 東証IPOセミナー in SENDAI Entrepreneur Week

開催日時 **2018年2月7日(水) 14:00~17:05 (懇親会 17:15~18:30)**  
(受付開始 13:30)

開催場所 **セミナー：東北大学金属材料研究所2号館1F講堂**  
**懇親会：レストラン萩(東北大学片平門会館2F)**

主催 株式会社七十七銀行、国立大学法人東北大学、株式会社東京証券取引所

後援 (予定) 仙台市、宮城県、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部、七十七キャピタル株式会社、東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社

開催概要 七十七銀行、東北大学及び東京証券取引所は、仙台市の起業家応援イベント「SENDAI Entrepreneur Week (仙台起業家週間)」の実施にあわせ、東京証券取引所でのIPOに関するセミナーを開催いたします。  
CEOセッションでは、2017年9月に東京証券取引所マザーズに上場した株式会社マネーフォワード代表取締役社長 辻 庸介 様を、CFOセッションでは2017年3月に東京証券取引所JQスタンダードに上場した株式会社ほぼ日取締役CFO 篠田 真貴子 様を講師にお招きし、それぞれの立場から見た企業の上場をテーマにセッションを行ないます。  
七十七銀行が取組む、地域企業の成長支援および、東北大学における学生向けEDGE-NEXT事業から出資事業とシームレスなベンチャー支援、東京証券取引所における、IPOに関する情報提供を加えていくことで、東北地域経済の成長を加速させます。本セミナーが、東北地域の皆様にとって、将来の経営戦略をお考えいただく一助となれば幸いです。

プログラム  
14:00~14:05 開会挨拶：七十七銀行地域開発部長 遠藤 禎弘  
14:05~15:35 **【CEOセッション】**  
株式会社マネーフォワード 代表取締役社長 辻 庸介氏  
15:35~15:45 休憩  
15:45~17:00 **【CFOセッション】**  
株式会社ほぼ日 取締役CFO 篠田 真貴子氏  
開会挨拶：  
東北大学 地域イノベーション研究センター長 経済学研究所教授 藤本 雅彦  
17:15~18:30 懇親会

定員 100名(セミナー参加費無料)

申込方法 以下のいずれかの方法でお申し込みください  
①参加申込みフォームよりのお申し込み  
<https://reg34.smp.ne.jp/regist/is?SMPPFORM=mamf-lbmdq-380853e6623e171b26955ee2459c244>  
②JPXのHPからのお申し込み  
(TOPページ⇒「上場をご検討中の皆様」⇒「セミナー情報」)  
③FAX申込用紙からのお申し込み

13

せんだい環境学習館  
**たまきさんサロン**

## サロン講座 連続講座全4回

# 『環境科学がよくわかる、 ディスカッション!』

気候変動(地球温暖化)やエネルギー問題など環境科学分野の最新の研究論文をトレンチャー先生が日本語でやさしく解説します!  
意見を交わすことで深く理解し、環境問題と向き合うきっかけにしてみませんか?

1回目 平成30年1月24日(水) 「気候変動の長期的な予測と不可逆性」  
2回目 平成30年2月7日(水) 「肉食生活と気候変動と人間の健康の関係」  
3回目 平成30年2月21日(水) 「日本のエネルギー問題と原発:どう向き合えば良いのだろうか」  
4回目 平成30年3月7日(水) 「海洋プラスチック廃棄物の問題」  
各回 18:30~20:30 会場 たまきさんサロン(青葉区荒巻青葉468-1)  
定員 18歳以上/15名(抽選) 申込み締切 1月11日(木)

スケジュール  
18:30 あいさつ、講師のご紹介  
18:35 最新論文をやさしく解説  
19:00 トレンチャー先生を囲んで意見交換  
20:00 交流会(ドリンク付き)  
20:20 まとめ  
20:30 講座終了

申し込み方法  
必要事項(講座名・参加者氏名・年齢・住所・電話番号)をご記入の上、メールまたはハガキ、FAXでお申込みください。  
※連続で参加可能な方優先。  
※抽選後、当選者にご連絡いたします。

お申し込み・お問い合わせ先 「せんだい環境学習館 たまきさんサロン」  
〒980-0845 青葉区荒巻青葉468-1 平日:10:00-20:30 土日祝:10:00-17:00  
東北大学青葉山新キャンパス内 休館日:月曜(月曜が休日の場合は、その翌日)  
東北大学大学院環境科学研究科 本館(J22)1階 祝日の翌日、年末年始  
TEL 022-214-1233 FAX 022-393-5038 ※臨時休館日はHPでお知らせいたします  
メール tamaki3salon@city.sendai.jp

※このチラシは「種がみとしてリサイクルできます。」

## 参加申込・会場アクセス

参加申込みフォーム  
<https://reg34.smp.ne.jp/regist/is?SMPPFORM=mamf-lbmdq-380853e6623e171b26955ee2459c244>

申込締切：**2018.1.31(水)**

参加にあたっての留意事項  
・当日は名刺を1枚お持ちください。  
・懇親会への参加費用は**2,000円**となります。  
・懇親会への参加費用は、当日受付で集めさせていただきますので、ご用意の上お越しください。

個人情報の取り扱いに関して  
※ご記入いただいた個人情報は、セミナーの運営業務の目的で利用し、その他の目的には一切利用いたしません。  
※弊行は、前述の行為を実施するにあたり、法律に基づき開示しなければならない場合を除き個人の同意なく第三者に開示することはありません。

### 会場アクセス

○会場：東北大学 金属材料研究所2号館1F 講堂  
○住所：〒980-8577宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

■東北大学片平キャンパス周辺図 ■金属材料研究所建物配置図

東北大学EDGE-NEXT：  
大学等の研究開発成果を基にした起業や新事業創出に挑戦する人材の育成、関係者・関係機関によるベンチャー・エコシステムの構築を目的とした、実践的な内容を重視したプログラムで、本学、北海道大学、小樽商科大学、宮城大学、京都大学、神戸大学がコンソーシアムを形成し取り組んでいます。  
(本事業は、文部科学省次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXTプログラム)採択事業です。)

東北大学スタートアップガレージ：  
学部生、大学院生、研究者、企業や地域の多様な人材に対するアントレプレナーシップ育成を目的に、青葉山キャンパス内ビジネスインキュベーション施設(T-Biz201号室)で①OB・OGを活用したビジネスコミュニティ、メンター、アドバイザー体制の構築、②起業塾・スクール、③ピッチイベント開催、④起業相談及び立ち上げ支援を実施しています。

【お問い合わせ先】  
株式会社七十七銀行 地域開発部地域開発課 堀江 山田  
Tel:022-217-6045 E-mail:sanren-77jpx@grp.tohoku.ac.jp  
国立大学法人東北大学 産学連携機構 今野・佐々木・山田  
Tel:022-211-9804 E-mail:sanren-77jpx@grp.tohoku.ac.jp  
株式会社東京証券取引所 上場推進部 中尾  
Tel:050-3377-7571 E-mail:ipo@jpx.co.jp

CNEAS 14 FRIS

東北大学東北アジア研究センター 公開講座ワークショップ 第4回川内セミナー

# 東北アジア先史「石」文化への学際的視点

—地質学・考古学からのアプローチ—

2018年2月9日(金) 13時~17時 会場:東北大学川内キャンパス川内北館3階特別演習室(特別公開)

先史時代において、「石」は利器や装飾などに用いられる重要な資源であった。地域固有の地質環境は、先史時代の文化の多様性や共通性に強い影響力を持つ。この関係性を具体的に問うためには、環境に関する地質学の知見と、先史文化に対する考古学の知見とを連携させることが重要である。本ワークショップでは、地質学と考古学の双方で活躍する講演者を招き、東北アジアを舞台とした地質環境と先史文化の関係について講演いただく。その上で、事例研究の紹介や石材分析の実演を通して、両分野が持つ「石」に対する認識について相互的な検討を試みる。

事前申込不要・参加自由

関係者の挨拶 (13:00) 趣意説明 (13:05)

講演:

- 飯塚義之 13:05—「先史時代の東アジアから東南アジアにおけるネフライト製石器の分布、起源、発展」
- 岩間 14:10—「資源環境としての珪質頁岩の特徴—形成環境、分布状況、利用形態—」
- 研究発表:
- 青木聖祐 15:00—「韓国・全羅北道における石器石材調査」
- 飯塚義之 15:20—「韓国、日本における旧石器石材利用戦略と狩猟用石器の形態比較」

資料検討会 総合討論

【懇親会を行います。参加を希望される方は問い合わせ先へ、都合までご連絡ください。】  
お問合せ / 東北大学大学院文学研究科 飯塚義之 | ryosuke.kumagai.q1@dc.tohoku.ac.jp

15

## 東北大学災害科学国際研究所シンポジウム

# 歴史が導く災害科学の新展開

日時:平成30年2月10日(土) 13:00~17:00  
場所:東北大学災害科学国際研究所1F 多目的ホール

アクセス:地下鉄東西線「青葉山駅」下車、南出口より徒歩約3分  
\*駐車場はございませんので公共交通機関をご利用下さい。  
当日参加可、事前登録は災害科学国際研究所HP (<http://rides.tohoku.ac.jp/>)より

### 第1部・文理融合型による災害研究の展開 (13:05~14:15)

今村文彦(東北大学災害科学国際研究所所長)  
「災害科学国際研究所における文理融合型の研究活動について」  
柳澤和明(東北歴史博物館研究員)  
「貞観地震・津波研究の現状と課題  
—陸奥国府多賀城跡における被害と復興を中心に—」  
後藤和久(東北大学災害科学国際研究所准教授)  
「地質記録にみる東北地方太平洋沿岸の津波履歴」  
蝦名裕一(東北大学災害科学国際研究所准教授)  
「歴史学研究の観点からみた慶長奥州地震津波」  
平野勝也(東北大学災害科学国際研究所准教授)  
「土木史からみる石巻と北上川」

### 第2部・被災史料を活用した新たな研究の展開 (14:30~15:30)

菊池慶子(東北学院大学文学部教授)  
「仙台湾岸における海岸防災林の履歴」  
川内淳史(神戸大学大学院人文学研究科特命講師)  
「明治三陸津波と大船渡の近代化  
—被災資料の保全作業を通して—」  
熊谷 誠(岩手大学地域防災研究センター特任助教)  
「唐丹村行政文書にみる昭和三陸津波への対応」  
川島秀一(東北大学災害科学国際研究所教授)  
「三陸沿岸と災害文化」

### コメント (15:30~15:50)

奥村弘(神戸大学大学院人文学研究科教授)  
平川南(人間文化研究機構理事)

### パネルディスカッション (16:00~17:00)

コーディネーター:今村文彦、奥村弘

主催:東北大学災害科学国際研究所  
共催:人間文化研究機構、東北大学災害科学国際研究所、被害予測と軽減ユニット(代表:今村文彦)、アーカイブユニット(代表:川島秀一)、共同研究拠点「岩手県沿岸における災害資料の整理・アーカイブと災害研究」(代表:奥村弘)  
問い合わせ:東北大学災害科学国際研究所 災害文化研究分野 (TEL) 022-752-2144または022-752-2146 (mailto:ejbn@rides.tohoku.ac.jp)

16

TOHOKU UNIVERSITY

日時:2018年2月10日(土) 14:00~17:00 (13:30開場)

会場:東北大学川内キャンパス 講義棟B棟200教室

公開講演会

趣意説明・センター長挨拶

講演:

- 世界の翡翠—新しい地質学的観点—  
江森 潤(東北大学東アジア研究センター 教授)
- 先史時代のネフライト製石器:化学分析からわかること  
飯塚義之(台湾中央研究院地球科学研究所 研究員)
- 「石」文化と氷河時代末期の人類—フランス・北米・東北アジア—  
阿部 浩(東北大学大学院文学研究科 教授)

問合せ先:〒980-8576 仙台市青葉区川内41 東北大学 東北アジア研究センター TEL: 022-795-6009 Eメール: asajimu@cneas.tohoku.ac.jp

主催:東北大学東北アジア研究センター  
後援:一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本地質学、NPO法人地球年代学ネットワーク、東北大学総合博物館

東北大学東北アジア研究センター公開講演会

# 「石」文化

—その起源と東北アジア先史の—

Gyoku Yū

阿部 浩

18

## 特別公開

# 星寮のおひなさま

昭和のはじめから、東北帝国大学の大学院看護師寮(星寮)で飾られていたひな人形を今年も史料館で公開いたします。かつての星寮生に愛でられきたおひなさまを、みなさま是非お楽しみください。

開催日時:2018年2/16~3/20 (月)~(金) 午前10時~午後5時

場所:片平キャンパス内 東北大学史料館2階展示室

入場無料

問い合わせ先:東北大学史料館

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1  
TEL: 022-217-5040  
URL: <http://www2.archives.tohoku.ac.jp>  
Facebookアカウント @tuarc  
twitterアカウント @T\_U\_Archives

アクセス:仙台市地下鉄東西線青葉区一番町駅、両国橋徒歩徒歩約10分、仙台駅西口(仮)より徒歩約15分、東北大学正門前下車5分

東北大学災害科学世界トップレベル研究拠点関連事業

# 学術成果公開シンポジウム

## 震災復興における 民俗芸能の役割と継承

2018年

2月

10日

(土)

14:00-17:00

会場 郡山女子大学芸術館



福島県浪江町戸田の田植え踊り、安波郡にて(2014年3月9日、福島市内の仮設住宅)

東日本震災の復興過程で特徴的だったのは、医療や土インフラ・雇用などの問題に加えて、地域社会における民俗芸能や祭礼などの復旧、復興期における役割が注目されたことです。本シンポジウムの目的は、被災者の日常的な暮らしの復興に対し、地域社会に伝わってきた文化が果たす役割を明らかにすることにあります。震災後の復興事業として文化財調査に関わった研究者や民俗芸能保存団体の活動を振り返りながら、なぜ民俗芸能が復興に寄ることができるのかを考えます。そして今後どのようにそれを次の世代に繋げていくべきなのかについても検討したいと思います。なお、本企画は「震災後の地域文化と被災者の民俗誌—フィールド災害人文学の構築」(高倉浩樹・山口隆樹、新泉社)の出版を記念するものでもあります。

『震災後の地域文化と被災者の民俗誌—フィールド災害人文学の構築』  
高倉浩樹・山口隆樹  
新泉社 2018年1月発行 定価2,500円+税

お問い合わせ  
[会場について] 一柳 智子(郡山女子大学) t.useno@koryiyama-kg.ac.jp  
[内容について] 大石 裕香(東北大学) yuka.oshi.d3@tohoku.ac.jp

主催 東北大学災害科学国際研究所・郡山女子大学  
共催 東北大学東北アジア研究センター  
後援 福島県 郡山市 福島民報社 福島民友新聞社  
福島県庁 福島市庁舎  
福島放送 テレビユー福島  
ラジオ福島 エフエム福島

### プログラム

趣旨説明  
フィールド災害人文学をめぐって  
高倉浩樹(東北大学)

#### 第一部 福島県の民俗芸能

話者1 民俗芸能の復興力—田植え踊りを事例に  
一柳智子(郡山女子大学短期大学部)

話者2 震災時における民俗芸能の力  
宮口勝美(浪江町副町長・室原郷土芸能保存会)

#### 第二部 民俗芸能と防災・震災復興

報告3 文化財化する地域文化  
小谷竜介(東北歴史博物館)

報告4 無形文化遺産の防災という考え方  
久保田裕道(東京文化財研究所)

#### 総合討論

コメントーター

何燕生(郡山女子大学短期大学部)  
木村敬明(東北大学)  
司会 山口睦(山口大学)

### アクセス



郡山女子大学芸術館 (〒963-8503 福島県郡山市開成三丁目25番2号)  
郡山駅南口から  
福島交通 路線バス9号線乗り場より→郡山女子大学下車(国道260号 約30分)  
タクシー(約1,700円15分)



今から一四〇年前、全国に広まった自由民権運動。ここ東北でも運動は活発に展開されました。東日本大震災や福島第一原発の事故によって人々が国家や地域と向き合わなくてはならない東北にあって、地域の問題に発した新たな国家を模索した人々の営みに思いを致すことは決して無駄ではないでしょう。そんな思いを乗せて、「東北の近代と自由民権—白河以北」を越えて



# 『東北の近代と自由民権—白河以北』を越えて』が問いかけるもの



講演① 13:10~14:10

河西 英通 (広島大学大学院文学研究科教授)  
『東北にとって自由民権とはなんだったのか』



講演② 14:20~15:20

成田 龍一 (日本女子大学人間社会学部教授)  
『21世紀に、自由民権運動を考える』

※講演終了後、休憩をはさんで90分間の質疑応答の時間を設けています。

日時 平成30年  
2月17日(土) 13:00~17:00  
入場無料/事前申込不要 ※直接会場へお越しください。

会場 東北大学川内北キャンパス

講義棟C棟  
200号教室  
〒980-8576  
仙台市青葉区川内41



■主催 東北大学東北アジア研究センター上層歴史学研究所部門  
■共催 福島自由民権大学・仙台郷土研究会・東北史学会  
■後援 河北新報社  
■問い合わせ先 東北大学東北アジア研究センター上層歴史学研究所部門 (仙台・東照館51) 〒980-8576 仙台市青葉区川内41 Tel・Fax 022-795-3140 Email in-tomodasa@cneas.tohoku.ac.jp  
■東北アジア研究センターHP <http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>  
■上層歴史学研究所部門HP <http://uehiro-tohoku.com/>



# 東北大学 学友会卒応援団 第一回定期演奏会

《後援》 仙台市 / 宮城県教育委員会 / 仙台市民文化事業団  
エフエム仙台 / 河北新報社 / TBC東北放送 / KOB東北放送 / エキサイト

2018/2/18 Sun. 開場 13:30 開演 14:00  
仙台銀行ホールイズミティ21小ホール

交響組曲「風の谷のナウシカ」  
Highlights from LA LA LAND 他

入場無料

tohoku-ohendan@hotmail.co.jp



20

TOHOKU UNIVERSITY

# 未来のナビ。 未来へのナビ。

東北大学 大学院情報科学研究科シンポジウム **「情報科学」から「交通ネットワーク」を考える**

2018年2月18日(日) 定員150名 **参加無料**

13:00~17:00 | 12:30受付開始 | 会場 東北大学 大学院情報科学研究科棟 2階 大講義室

お問い合わせ 東北大学 大学院情報科学研究科 総務係  
is-somu@pr.hokudai.ac.jp TEL: 022-795-5813

アクセス 市営地下鉄東西線 青葉山駅北1出口から徒歩1分

参加申込 事前にウェブサイトからの参加申込をお願いします。当日参加も可能です。  
www.is.hokudai.ac.jp/sympo/

東北大学 大学院情報科学研究科シンポジウム **「情報科学」から「交通ネットワーク」を考える**

## 未来のナビ。未来へのナビ。

日々の通学や通勤、国内外への旅行、生産地と消費地を結ぶ物流など、私たちの暮らしにとって「人と物の移動」は欠かすことのできない要素です。道路や鉄道、航路といったネットワーク上を、より速く、より多く、効率的に移動することを目標に発達を続けてきた交通のテクノロジー。そこでは、時間やコストに加え、安全性の向上、環境負荷の低減、快適さの追求といった視点も重要視されています。今回の情報科学研究科シンポジウムでは、交通関連の研究に取り組む研究者だけでなく、数学や哲学の研究者も登場。学際色豊かな情報科学研究科らしく多様な視点から交通ネットワークの未来を考えます。題して「未来のナビ。未来へのナビ。」さて、それぞれの研究者はどんな未来を指し示してくれるでしょう。

**講演1** 交通ネットワークの 手のひらから交通へ  
桑原 雅夫 教授

私たちの身の回りは、気づかないうちに数多くの交通センサーに囲まれています。スマホ、Bluetooth、Twitterなども一つ一つ。今回は、これら交通センサーデータが、さまざまな交通状況を教えてくれる数あるセンサーです。未来2050年のナビは、一体どんな機能を果たしてくれるのかを一緒に考えましょう。

**講演2** 次世代自動車のウラ側 地方創生のために次世代モビリティがすべきこと  
鈴木 高宏 教授 未来科学技術共同センター(MOCE)

自動運転は実用化できるのか、本当に役に立てるのか、という問いかけが、東北では道徳的議論、さらに農業も加わり、期待が大きい一方、課題が山積しています。自動運転と次世代自動車の地方への導入・普及についての現状とポテンシャルの両面から話をしたいと思います。

**講演3** 経路探索のウラ側 全経路探索列挙索引化技術  
吉仲 亮 教授

現在から目的地までの経路を求めたいと思ったら、カーナビや路線検索アプリが複数経路や料金料金を算出してくれています。でも、見たい経路は複数経路の中からどうやって選ぼう? 経路選びをしてみたいと思ったら? 今回は、あらゆる経路を探索してさまざまなワザで考える技術についてお話しします。

**講演4** ネットワークのウラ側 グラフ理論の深みを覗く  
尾畑 伸明 教授

ネットワークは日常的にどこでも観察される面白い研究対象です。その構造を抽象化するととらえかたからなるグラフと呼ばれる図形が得られます。このように図形に関する数学がグラフ理論です。プレイヤーの一番重要な、多くの数学者が研究してきたその深淵を大抵、ワンランク上の視点から覗いてみたいと思います。

**講演5** 自動運転のウラ側 経済のない道路交通システムをデザインする  
赤松 隆 教授

近年発展が著しい自動運転技術は、現在の道路交通システムが抱えるさまざまな問題を解消する一助と期待されています。しかし、この技術開発の裏面には、世界中の研究者がさまざまな課題の解決にはつなげていません。今回は、自動運転が普及した未来、道路渋滞を解消するには、どのような仕組みが必要かを考察します。

**講演6** リニア新幹線のウラ側 地下を中空移動する半宇宙人の夢  
森 一郎 教授

大地に降りつけられてきた人類は、天空へ飛翔したいという憧れを抱いてきました。宇宙エレベーターは、天空をつらなる夢の扉が開かれています。このように地上を降りて地下を移動する半宇宙人という夢が、リニア新幹線は、地下深くを移動する半宇宙人です。半宇宙人という夢を現実化するプロジェクトです。この夢を実現する技術が何を実現するか、ちょっと立ち止まって考えてみましょう。

**パネルディスカッション** 「どうなる?未来の交通ネットワーク」  
モデレータ 井上 亮 准教授

人や物が全世界を行き交う未来、その移動を担う交通ネットワークは、人々の日々の暮らしを豊かに支えています。これまで交通ネットワークは、安全かつ円滑な移動の実現を目指して整備されてきました。それは今後、どのように発展していくのでしょうか? 数学者や哲学者の視点から交通ネットワークの立場から、未来の交通ネットワークの可能性を考えてみましょう。

22

世界の歌、日本の歌、懐かしのあの合唱曲を国内外で活躍する若手ナンバーワンのマエストロが振る!

# 山田和樹 指揮 東京混声合唱団

演奏予定曲目

世界の国歌集  
ゆけ、わが思いは、黄金の翼に乗って  
気球に乗ってどこまでも  
地球へのピクニック/翼をください  
風になりたい/ライオンは眠っている  
Over the Rainbow  
コンダリラ(滝の精)/瑠璃色の地球  
上を向いて歩こう  
涙をこえて/心の瞳 他

※都合により曲目に変更になる場合がございます。

萩原麻未 [ピアノ]

## KAZUKI YAMADA THE PHILHARMONIC CHORUS OF TOKYO

2018 2.18 [日] 15:00開演 (14:30開場)

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

入場料 S席¥5,200/A席¥4,600/学生席(大学生以下)¥3,000 (税込)

チケット一般発売日: 2017年11月10日(金)

プレイガイド 東北大学 河内萩ホール 022-211-1189(平日10:00~14:00)

お問合わせ 東北大学 河内萩ホール 022-211-1332(平日10:00~17:00) TBC事業部 022-714-1022(平日9:30~17:30)

23 28 35

東北大学2017年度 後期プログラム

Tohoku University Science Café × Liberal Art Salon

東北大学 サイエンスカフェ 東北大学 リベラルアーツサロン

## まちを照らす 知識のとももしび

飲み物を片手に気軽に参加できます!

全回 18:00-19:45

学問をもっと身近に、もっと楽しく。

サイエンスカフェ、リベラルアーツサロンは東北大学が主催する「学問をもっと身近に、もっと楽しくする」参加型のトークイベントです。参加は無料、年齢制限はありません。皆様のご参加をお待ちしています。

**第145回 サイエンスカフェ** 10/20 金 松浦 祐司 教授 [医学研究科] 見えない光で健康検査 ~くびるで血糖値チェック~

**第146回 サイエンスカフェ** 11/10 金 魚住 信之 教授 [工学研究科] 植物はなぜ海水で育たない? ~植物の塩害とその分子メカニズム~

**第149回 サイエンスカフェ** 2/23 金 加藤 雄人 准教授 [理学研究科] 宇宙に響くさえずりとジオスペース

**第147回 サイエンスカフェ** 12/13 水 山口 雅彦 教授 [医学研究科] らせんと化学 ~常盤川に注目してください~

**第151回 リベラルアーツサロン** 3/2 金 坂巻 康司 准教授 [国際文化研究科] フランス近代詩を読む ~ポドレールからの出発~

**第148回 サイエンスカフェ** 1/19 金 藤井 善幸 教授 [農学研究科] 食べ物を美味しくする加工技術 ~好きをたずねて新しさを知る~

**第150回 サイエンスカフェ** 3/16 金 志田原 美保 講師 [医学系研究科] 追跡! 体内の薬のゆくえ ~機能画像からはじまる未来医療~

会場: 東北大学 大学院情報科学研究科棟 2階 大講義室  
市営地下鉄 東西線 青葉山駅 北1出口から徒歩1分 (地下鉄仙台駅が9分)

特設ウェブサイトにて参加申込受付中!

お問い合わせ・連絡先 東北大学 総務企画部広報課社会連携推進室 022-217-5132

# OTOKO★NIGHT

**男性限定**  
参加無料  
事前のお申し込みが  
必要です

オトコだって  
悩んでいます!

**1DRINK**  
付き  
※2ドリンク...  
類は別料金

## 不妊治療の ホンネ



不妊治療が身近な選択肢のひとつとなった今、不安や疑問を抱えている男性も少なくありません。

パートナーには話にくい 誰に聞いていいかわからない 同じ立場の人と話したい

そんな男性を対象に、当院で不妊治療を専門とする医師と看護師が皆さんとホンネで語り合います。

**出演** 立花 真仁(産婦人科医師) 山下 慎一(泌尿器科医師)  
高橋 恵美子(助産師・不妊症看護認定看護師)  
神宮 啓一(広報室 室長)

**進行** 長神 風二(東北メディカル・メガバンク機構)

2018.2.23 fri (OPEN18:30) 仙台市青葉区春日町4-25 パストラルハイム春日町1F

対象者:不妊治療について悩んでいる男性(定員25名) 応募締切 2018年2月2日(金)

申し込み方法: 右記にアクセスし、申し込みフォームから必要事項をご入力の上お送りください。

主催:東北大学病院 協力:東北メディカル・メガバンク機構

# サイエンスリンク in 仙台



大学生による科学イベントを開催します!!  
身のまわりのふしぎな現象から、はるかに遠くの宇宙のことまで  
楽しみながら科学を体験できます!  
誰にでもわかりやすく大学生が説明します。  
ぜひお越しください!

写真:サイエンスリンク in 山形の様子

2018年2月25日(日)  
10:00~16:00(最終受付 15:30)

予約不要  
入場無料

**場所** 東北大学 片平さくらホール  
アクセス:地下鉄南北線五橋駅より徒歩7分  
地下鉄東西線青葉通り一番町駅より徒歩12分  
(学内に駐車場はありませんのでご注意ください)

**主催** サイエンスリンク in 仙台実行委員会(Email:sc.link.sendai@gmail.com)

**共催** NPO 法人サイエンスリンク 協力 東北大学大学院理学研究科・理学部

**出展** 山形大学 SCITA センター・学生スタッフ/ 東北大学理学研究科広報サポート  
東北大学天文学教室/みちのく博物館/お茶の水女子大学環境科学倶楽部  
NPO 法人サイエンスリンク/東海大学チャレンジャーセンターサイエンスコミュニケーター  
東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST



にイベントの情報を  
お知らせします!

# ほんとの空が 戻る日まで

震災の記録と教訓を残し、未来に活かす

日時 2018年  
**2/24** 13:00  
17:30

会場 東北大学 片平さくらホール 仙台市青葉区春日町2-1-1  
東北大学片平キャンパス内

- プログラム**
- I部 基調講演** 「災害記録を未来に活かす—古代ロベの調査を通じて—」  
青柳 正規氏 東北大学名誉教授 (前文化庁長官)
  - II部 福島の現状と課題**  
「福島の現状と課題」…………… 初澤 敏生 FUREセンター長  
「避難所運営 シミュレーション教材による取組み」…………… 天野 和彦 FURE地域復興支援部門 特任教授  
「『社会力』の向上を目指した防災教育」…………… 本多 環 FUREこども支援部門 特任教授  
「震災関連資料の収集と保存」…………… 柳沼 賢治 FURE地域復興支援部門 特任教授
  - III部 パネルディスカッション**  
「震災の記録と教訓を残し、未来に活かす」  
【モデレーター】 高木 孝之 東北大学災害科学国際研究所 准教授  
【パネリスト】 佐藤 大介氏 東北大学災害科学国際研究所 准教授  
高木 孝之氏 東北大学社会学部社会学部 准教授  
岩手県立総合支援センター 岩手県立総合支援センター 岩手県立総合支援センター 岩手県立総合支援センター  
高橋 孝雄氏 FURE地域復興支援部門 特任教授  
藤野 真之氏 FURE地域復興支援部門 特任教授



参加募集人数 **150名** 参加費 **無料**

事前申込みが必要です。参加ご希望の方は裏面の参加申込方法により**2月13日**までにお申し込み下さい。(事前申込制 定員になり次第、締め切りです)



参加対象者 一般市民、大学関係者、学生、行政職員 他  
主催 ▶ 国立大学法人福島大学、福島大学つくしまふくしま未来支援センター  
共催 ▶ 国立大学法人東北大学  
後援(予定) ▶ 文部科学省、復興庁、福島県、宮城県教育委員会、仙台市、  
双葉地方町村会、公益社団法人経済同友会 他

# 東アジアの大学における 特色ある英語教育サポ ートシステム

公開シンポジウム/東北大学高度教養教育推進事業採択プロジェクト  
香港と日本の例から

- 13:00-13:10 開会挨拶  
**江藤 裕之**  
東北大学大学院国際文化研究科
- 13:10-13:50 【報告1】  
**Bruce Morrison**  
香港理工大学教授・英語教育センター長
- 14:00-14:40 【報告2】  
**Keith (Sai Tao) Tong**  
香港科技大学教授・言語教育センター長
- 14:50-15:30 【報告3】  
**Neil Curry**  
神田外語大学自主学习センター主任ラーニングアドバイザー
- 15:45-16:45 質疑応答
- 16:50-17:00 閉会挨拶

2018.3.3 Sat.13:00-17:00

東北大学川内北キャンパス  
教育・学生総合支援センター(東棟)4階 大会議室  
http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawachi/areaah.html  
(A01の建物)

使用言語: 英語(通訳なし)  
定員: 50名程度  
参加費: 無料

主催: 東北大学高度教養教育・学生支援機構 言語・文化教育センター  
共催: 東北大学大学院国際文化研究科  
後援: 東北大学学務審議会外国語委員会英語教科部会



参加申込み方法 REGISTRATION 東北大学高度教養教育・学生支援機構 HP「イベント申込み」より Web にてお申込みください。  
※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、ihe-seminar@reg-mail.tohoku.ac.jp までお申込みください。  
<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/> 東北大学高度教養教育・学生支援機構 検索

お問い合わせ先 CONTACT 東北大学高度教養教育・学生支援機構事務局  
TEL: 022-795-7351 E-mail: iheoffice@ihe.tohoku.ac.jp

30 東北大学111周年 / 関西萩友会11周年記念

# 萩友会 関西交流会

日時 平成30年 3月4日(日) 講演会 13:30~(開場13:00) 懇親会 16:00~

会場 ホテルグランヴィア大阪 大阪府大阪市北区梅田3丁目1番1号(TEL:06-6344-1235)

対象 卒業生、在校生、卒業生および在校生の家族、現職の教職員、一般(高校生可)

入場無料

講演会 13:30~15:55 会場 20階 名庭B・C

- 挨拶 東北大学関西萩友会会長 杉山 一彦
- 講演「創造と変革を先導する指定国立大学法人へ」東北大学総長/東北大学萩友会会長 里見 進
- 東北大学と萩友会の活動紹介 東北大学副学長/東北大学萩友会代表理事 青木 孝文

ご家族、ご友人をお誘いあわせの上、奮ってご参加ください

## 人工知能・ロボットと法律

—自動運転自動車やロボット技術は、法と社会をどう変えるのか—

花水法律事務所 弁護士 元経産省次世代ロボット安全性確保ガイドライン検討委員会委員

AI・ロボットと法律問題のエキスパート **小林 正啓 氏**

1986年(昭和61年)東北大学法学部卒業。2000年に花水法律事務所を創設。一般民事事件の傍ら、ヒューマノイドロボットの安全性の問題と、ネットワークロボットや防犯カメラ監視カメラとプライバシー権との調整問題に取り組んでいる。

## memento mori

—現代日本人の死生観—

東北大学高度教養教育・学生支援機構 教養教育院 総長特命教授

「臨床教師」養成の第一人者 **鈴木 岩弓 氏**

1979年(昭和54年)東北大学大学院文学研究科修了。専門は宗教学・死生学。東日本大震災後、文学研究科に「実践的宗教学研究」を設置し、布教ではなく心のケアをする「臨床宗教学」の養成にあたり、文学研究科定年後、引き続き現職。

懇親会 16:00~17:30 会場 20階 名庭A

会費:6,000円(立食形式) 会費は当日受付にて申し受けます(高校生以下の同伴者は無料)

お申込方法 **申込締切** 平成30年 2月21日(水) 17:00まで

表面申込書をご記入の上、FAXまたは郵送にて送付ください。(郵送の場合は、2月21日(水)萩友会事務局必着とさせていただきます。)なお、インターネットからの申し込みも受け付けております。

FAX 022-217-5910

インターネットからの申し込みはこちら <http://www.tohoku.ac.jp/kansai/>

お問い合わせ・郵送先 東北大学総務企画部広報課萩友会(東北大学萩友会事務局) 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1 TEL:022-217-5059 E-mail:alumni@grp.tohoku.ac.jp

主催 東北大学、東北大学校友会、東北大学協会、東北大学関西萩友会

31 ぶらりがく

# 津村耕司先生の観望会

2018.3.9 FRI 18:30-19:30

空に近い青葉山で、星を眺めてみませんか? 理学研究科天文学専攻にある51cm反射望遠鏡を使って観望会を開催します。

講師は津村耕司先生。

開催日頃は冬の星座(冬のダイヤモンド)が見頃です。すばる(プレアデス星団)を望遠鏡で観望しましょう。

星を見るのが初めての方でも大歓迎です。お気軽にお越しください。

※雨天時は、望遠鏡の見学と津村先生によるミニ講演会「4次元宇宙シターmitaka」で体験する今晩の星空旅行を行います。

■場所 東北大学理学研究科(青葉山キャンパス)

■講師 天文学専攻 助教 津村 耕司(つむら こうすけ)

■対象 一般

■中学生以下のお子様は保護者の同伴が必要です。

■募集定員 30名/抽選

■持ちもの 筆記用具

■お申込み ぶらりがくのウェブサイトからお申込みください。 <http://www.sci.tohoku.ac.jp/campusstour/>

■お申込み締切 2018年3月1日(木)

■定員を超えた場合は抽選を行い、当選者には3月2日(金)に集合場所等ご連絡しますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ 東北大学理学研究科広報・アクティビティ支援室 TEL:022-795-6708 E-mail:sci\_koho@mail.sci.tohoku.ac.jp

32

# かたりつづぎ

朗読と音楽の夕べ

東日本大震災の「語りつづぐ記憶」

あの日から、七年の歳月が経とうとしています。震災を体験していない方も増えてきました。みなさんの震災の記憶、どう変化していますか。

災害は、何時起きるかわからない。しかし、心の備えは、いつでも生きる知恵となる!

七人の記憶

- ・災害エッセイで心をつなぐ(日本文学教育協会 阿部恵理さん)
- ・被災地の劇場にて「復興祈願会」(大宮多摩地区)
- ・サッカーの神様が降り続いて(宮城県多賀城 高橋一樹さん)
- ・船に納まりきれぬもの(宮城県仙台市 西村智吉さん)
- ・通判自衛隊からの脱却(宮城県仙台市 西村智吉さん)
- ・かえるマラソン(福島県内村 渡瀬雅幸さん)
- ・パンドラの匣を開けて(宮城県仙台市 渡瀬雅幸さん)

出演(朗読)

(朗読) 竹下 景子(音楽) (講演) ゲルスタ ユリア(ベルリン自由大学)

(朗読) 柴山 明寛(音楽) 柴田 広耶(東北大学災害科学国際研究所)

(演奏) 高塚 美奈子(ピアノ)/ 菅田 広耶(マリン)

(合唱) 宮城県多賀城高等学校 合唱部

2018年3月10日(土)

開場 13:00 開演 14:00(講演予定 16:00)

会場 多賀城市文化センター 大ホール 〒985-0873 多賀城市中央二丁目27番1号 TEL:022-368-0131

入場無料・要整理券 全席自由

Ustream中継 13:55~ <http://ustre.am/UoAM>

JR仙台線・多賀城駅下車一駅より徒歩7分

お問合せ 東北大学災害科学国際研究所 災害アライヴ研究分野 TEL:022-752-2099

主催:多賀城市/東北大学災害科学国際研究所/宮城県多賀城高等学校/かたりつづぎ実行委員会/復興祈願センター実行委員会(共同)

協賛:多賀城市/仙台市/宮城県/多賀城教育委員会/仙台市/仙台市/宮城県/多賀城/復興祈願センター/仙台市市民文化事業団/仙台市市民文化事業団/仙台市市民文化事業団/仙台市市民文化事業団/仙台市市民文化事業団/仙台市市民文化事業団

37 エフエム仙台開局35周年記念 東北大学川内萩ホール Classical Wave

# オーケストラで歌う エバーグリーンコンサート

supported by GFG German Factory Group

太田裕美

・木綿のハンカチーフ  
・さらばシベリア鉄道  
・雨だれ

庄野真代

・飛んでイスタンブール  
・モンテカルロで乾杯  
・アデュー

渡辺真知子

・かもめが翔んだ日  
・迷い道  
・ブルー

2018年3月24日(土) 16:00開場/17:00開演

会場 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

チケット販売日 2017年12月18日(月)10:00~

ローソンチケット(Lコード:22387) チケットぴあ(Pコード:100-633) 藤崎、仙台三越

【一般】¥4,800(※萩友会¥3,800) 【学生】¥2,500

※萩友会:学生証はエフエム仙台サウンズのみに提出  
※表示価格は全て税込です ※未就学児童入場不可

【主催】エフエム仙台 エフエム仙台 東北大学 【特別協賛】GFG

【後援】河北新報社 【企画制作】(株)タイトプランニングオフィス エフエム仙台サウンズ

【お問合せ】エフエム仙台サウンズ TEL:022-265-7716(平日10:00~17:00)

### 川内萩ホール展示ギャラリー

## かわうち今昔ものがたり

埋蔵文化財調査室・植物園・史料館による共同展示



開場時間 9:30~17:00  
毎週火曜日および定期点検日は休館



江戸時代初期の屋敷跡から出土した志野焼陶器前武人入形



仙台城二の丸跡出土青札木簡



第二師団での兵士たちの生活用品



東北大学教養部の表札

広瀬川の清流と青葉山の森に囲まれた川内地区は、古来さまざまな人びとが足跡を残した場でもあります。中世、仙台平野を代表する霊場であったと言われるこの場所は、やがて仙台城とそこに仕える重臣たちの居住地となり、さらに近代には陸軍や米軍の軍事施設として使われるなど、常に特別な場であり続けました。

この展示では、現在東北大学のキャンパスとして使われている川内の自然と歴史を、構内の発掘調査成果や本学に残されている様々な資料を通じてご紹介いたします。

### 展示の内容

- 川内の自然：川内と青葉山の自然地形や植生について
- 古代・中世の川内：古代・中世における川内の遺跡や遺物
- 江戸時代の川内—仙台城二の丸と武家屋敷：発掘成果と出土遺物から江戸時代の仙台城二の丸と武家屋敷の様子
- 近代の川内：第二師団が置かれ「軍都」仙台の中核となった近代の川内の様子
- 川内キャンパスの誕生：戦後昭和33年に川内キャンパスが誕生した経緯とその後の変遷
- 川内萩ホール：創立50周年から100周年へ



# 東北大学アンテナ

東北大学の先生の話がここでも！



曜日	番組内容
日	毎日新聞・日曜 <b>脳を鍛えたい／脳トレ川柳</b> 川島隆太教授（加齢医学研究所）
日	Datefmエフエム仙台・日曜8:25-8:55 <b>SUNDAY MORNING WAVE</b> 今村文彦教授（災害科学国際研究所）
第2・4水	読売新聞（地方） <b>東北大学医学部教授リレーコラム 星陵の学びやから</b> 医学系研究科教授など
木	Datefmエフエム仙台・木曜10:00-10:05 <b>hessoラヂオ</b> 東北大学病院の先生、看護師など
木	河北新報（夕刊）木曜 <b>川島&amp;滝のスマート・エイジング</b> 川島隆太教授・滝靖之教授（加齢医学研究所）
土	河北新報 土曜 <b>東北大30の挑戦—社会にインパクトのある研究—</b> 河北新報（くらし面）
第1・3金	<b>気になる症状すっきり診断</b> <b>東北大病院専門ドクターに聞く</b>
日月水金	J:COM（ケーブルテレビ） 日 18:00- 月 19:00- 水 22:00- 金 19:00- <b>サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン</b>
都度	河北新報/河北新報ONLINE NEWS <b>サイエンスカフェ・リベラルアーツサロン</b> <a href="http://www.kahoku.co.jp/special/spe1097/">http://www.kahoku.co.jp/special/spe1097/</a>
随時	読売新聞ONLINE <b>東北大病院100年</b> <a href="http://www.yomiuri.co.jp/local/miyagi/feature/CO017751/">http://www.yomiuri.co.jp/local/miyagi/feature/CO017751/</a>

履修証明プログラムのご案内  
(学校教育法に基づき修了者には履修証明書が交付されます)



# 臨床宗教教養講座

## 2018（平成30）年度受講者募集

スピリチュアルケア、グリーフケア、死生学、臨床宗教師について実践的な視点から学ぶ、通信教育とスクーリングによる1年コース

超高齢社会多死社会を迎えている現代日本において、医療福祉分野においては死の不安への対応が不可欠となり、また東日本大震災後には悲嘆者への対応についての関心が高まっています。東北大学実践宗教学寄附講座では、公共空間でのケアを提供する宗教者「臨床宗教師」を養成してきました。臨床宗教師との連携を進めるためにも、また、宗教者のみならず様々な立場から地域包括ケアを支えるためにも、臨床宗教師やその実践に関わる知識を共有し、様々な分野での臨床応用に役立てていただきたいと思えます。

**受講料** 10万円

**募集定員** 20名程度  
※書類審査による選考を行います。  
※履修証明プログラムは社会人向けの教育プログラムです。全課程を修了した方には東北大学総長名の修了証が授けられます。

**履修期間** 2018（平成30）年4月中旬～2019（平成31）年2月末  
※受講にはインターネット環境が必要です。ご自身で準備してください。  
※スクーリング（8月、2月）・修了証書授与式会場：東北大学川内南キャンパス（仙台市青葉区）  
【一次募集締め切り】2018年2月9日（金）※2次募集実施の場合があります。（3月～5月）  
【履修資格】以下の条件をすべて満たす者とする  
①高校を卒業していること。ただし、本研究科において高校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合も履修可能とする  
②スピリチュアルケア、グリーフケア、傾聴活動、死生学に関心を持ち、当該分野で臨床経験がある者、もしくは社会貢献を志している者  
【出願書類】※検定料は無料です  
①願書（ホームページからダウンロードしてください） <http://www2.sai.tohoku.ac.jp/p-religion/>  
②履歴書（写真付き、書式自由）  
③卒業証明書（高卒、もしくは最終学歴を証明する書類）  
④志望動機書（本講座を受講する動機、1000～2000文字程度）  
⑤活動計画書（修了後の活動計画、1000～2000文字程度）  
【郵送先・問合せ先】  
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科実践宗教学寄附講座  
E-mail: j-shukyo@g-mail.tohoku-university.jp FAX:022-795-3831



### 募集・履修の流れ

出願  
(2018年2月9日締め切り)

書類審査

選考通知結果通知  
(3月10日頃)

履修手続・受講料納付  
(3月末頃まで)

前期授業開始  
(4月中旬)

スクーリングⅠ  
(8月20日・21日)

前期成績通知  
(9月中旬)

後期授業開始  
(10月中旬)

スクーリングⅡ  
(2月18日・19日)

後期成績通知  
(2月中旬)

修了審査

修了証書授与式  
(3月)

### 臨床宗教教養講座

2018年度受講者募集

カリキュラム（各科目90分×10回）

科目	テーマ	時間数	担当講師
通信教育（前期：4月中旬～8月上旬）			
宗教学Ⅰ	ケア実践に見る宗教性	15時間	高橋 原
死生学Ⅰ	死から生を学ぶ	15時間	大村哲夫
死生学Ⅱ	医療福祉における死	15時間	谷山洋三
宗教心理学	宗教と心理療法	15時間	高橋 原
応用死生学Ⅰ	グリーフケア	15時間	谷山洋三
スクーリングⅠ			
死生学Ⅲ	死生観ワークショップ	15時間	大村哲夫・谷山洋三、他
通信教育（後期：10月中旬～2月上旬）			
宗教学Ⅱ	宗教と民俗、現代社会	15時間	木村敏明
実践宗教学Ⅰ	スピリチュアリティ	15時間	高橋 原
実践宗教学Ⅱ	臨床宗教師の実践報告	15時間	高橋原・谷山洋三、他
宗教人類学	宗教と社会福祉	15時間	谷山洋三
応用死生学Ⅱ	スピリチュアルケア	15時間	谷山洋三
スクーリングⅡ			
応用死生学Ⅲ	傾聴ワークショップ	15時間	谷山洋三・大村哲夫、他

#### 指導教員一覧

木村敏明	東北大学大学院文学研究科・教授（宗教人類学）
高橋 原	東北大学大学院文学研究科・教授（宗教心理学）
谷山洋三	東北大学大学院文学研究科・准教授（臨床死生学）
大村哲夫	東北大学大学院文学研究科・助教（臨床心理学）
金田諦應	カフェ・デ・モンク主宰、日本臨床宗教師会副会長
森田敬史	長岡西病院ビハラー病棟ビハラー僧
高橋悦堂	北海道東北臨床宗教師会事務局長

#### 資格取得について

■修了者は2019（平成31）年度に開講される「臨床宗教実践講座」（実習とスーパーバイジョン）を受講することができます。これを修了することで、日本スピリチュアルケア学会「スピリチュアルケア師（認定）」、日本臨床宗教師会「認定臨床宗教師」（宗教者のみ）に申請することができます。  
※詳細はお問い合わせください。

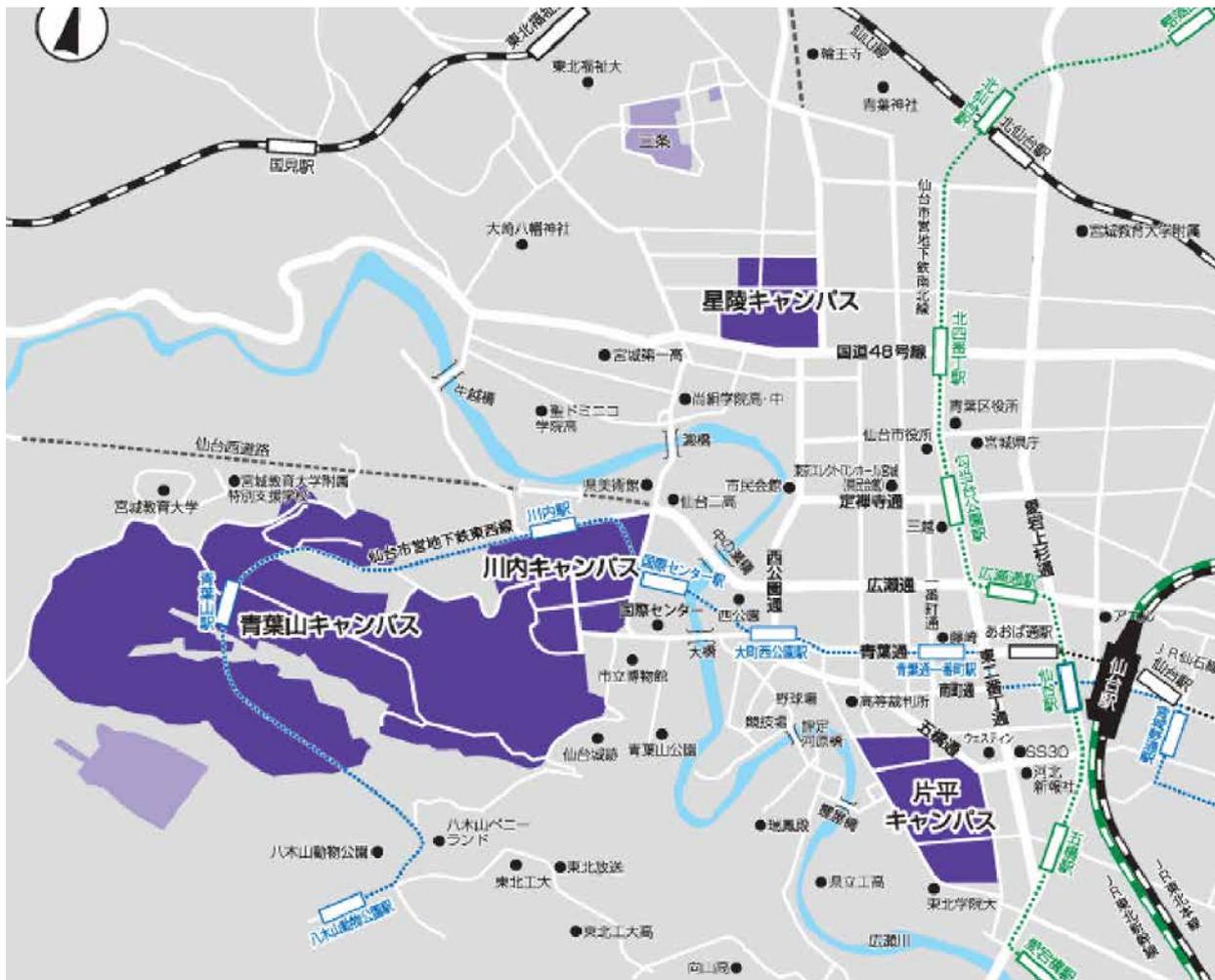
21

# 東北大学一般公開施設一覽

キャンパス	施設名	開館時間	休館日	問合せ・その他
片平	魯迅の階段教室 (旧仙台医学専門学校六号教室)	毎週火・木曜日の 13:00～16:00	祝日、6/22、夏 季休業日、年末年 始	総務企画部 広報課 022-217-6090 ※1週間前までに要予約。 学術目的でのみ公開
片平	東北大学史料館	10:00～17:00 ※12:00～13:00は 閲覧室休み	土・日・祝日、夏 期休業日、 年末年始	東北大学史料館 022-217-5040 無料
片平	本多記念室 ・資料展示室	9:00～16:30	土・日・祝日、夏 期休業日、 年末年始	金属材料研究所 情報企画室広報班 022-215-2144 無料 ※案内希望の場合10日前までに 連絡
片平	エクステンション 教育研究棟 1F広報展示スペース	8:30～17:15	土・日・祝日、夏 期休業日、 年末年始	総務企画部広報課 022-217-4816 無料
川内	東北大学植物園	9:00～17:00 (春分の日-11/30)	月曜定休 (月曜祝日の場合 祝日明け)	東北大学植物園 022-795-6760 大人：230円 小中学生：110円 ※団体料金、年間パスポート等 あり
川内	西澤記念資料室	9:00～16:00	土、日、祝祭日	教育・学生支援部 入試課 022-795-4804 無料
川内	東北大学百周年記念会館 (川内萩ホール) 展示ギャラリー	9:30～17:00	火、年末年始	川内萩ホール 022-795-3391 無料
青葉山	自動車の過去・未来館	8:00～20:00	年中無休	機械系広報推進室 022-795-4043 無料
青葉山	東北大学理学部 自然史標本館 (東北大学総合学術博物館)	10:00～16:00	月曜定休 (月曜祝日の場合 祝日明け)	東北大学総合学術博物館 022-795-6767 (個人) 大人:150円 小中学生:80円 ※萩友会プレミアム会員は 入場無料 ※団体料金(20名以上)あり
青葉山	東北大学大学院薬学研究科 ・薬学部 附属薬用植物園	9:00～17:00	土・日・祝日	附属薬用植物園 022-795-6799 無料 ※園内の案内や解説は 事前連絡
青葉山	分散コンピュータ博物館 (サイバーサイエンス センター展示室)	9:00～17:00	土・日・祝日	サイバーサイエンスセンター 022-795-3406 無料 ※説明、10名以上の見学時は場 合は要事前連絡
青葉山	せんだい環境学習館 たまきさんサロン (環境科学研究科1階)	平日 10:00～20:30 土日祝 10:00～17:00	月曜(月曜が休日 の場合その翌日)、 祝日の翌日、年末 年始	せんだい環境学習館 たまきさんサロン 022-214-1233 無料
その他	阿部次郎記念館	10:00～16:00	日、月、祝祭日、 月末日、12/28- 14	阿部次郎記念館 青葉区米ヶ袋3丁目4-29 022-267-3284 無料

# キャンパスマップ

各キャンパスまでは、下記の地図を参照の上ご来場ください。



## ■ 片平キャンパス

### (地下鉄)

五橋駅 (仙台市地下鉄南北線)

北2口から徒歩約10分

青葉通一番町駅 (仙台市地下鉄東西線)

南1口から徒歩約10分

### (バス)

仙台市営バス仙台駅前11番乗り場から「(東北大学病院前-八木山動物公園駅)八木山動物公園駅行」か「(東北大学病院前-緑ヶ丘三丁目)緑ヶ丘三丁目行」か「(東北大学病院前-西高校入口)西高校入口行」で約5分東北大学正門前下車

## ■ 川内キャンパス

(地下鉄) 川内駅 (仙台市地下鉄東西線)

キャンパス直結

国際センター駅 (仙台市地下鉄東西線)

西1口より徒歩約5分

## ■ 青葉山キャンパス

(地下鉄) 青葉山駅 (仙台市地下鉄東西線)

キャンパス直結

## ■ 星陵キャンパス

### (地下鉄)

北四番丁駅 (仙台市地下鉄南北線)

北2口より徒歩約15分

### (バス)

仙台市営バス仙台駅前9番乗り場「北山・子平町循環」

10番、15-1,15-2番乗り場 東北大学病院経由 東北大学病院前 下車

13番、14番のりば

東北大学病院経由か北山トンネル・中山経由か山手町・中山経由 東北大学病院前下車か歯学部・東北会病院前下車

60番乗り場 交通局東北大学病院前行 交通局東北大学病院前下車 いずれも所要時間20分

## 「まなぶひと」のおもな配架場所

[片平キャンパス]北門会館(エントランス・萩友会ラウンジ)、北門守衛室、エクステンション教育研究棟、本部棟エントランス、史料館 [川内キャンパス]川内萩ホール、附属図書館本館、川内厚生会館 [青葉山キャンパス]総合学術博物館、工学部購買部 [星陵キャンパス]東北大学病院 [その他]国際センター駅、せんだいメディアテークフリーペーパーコーナー、仙台市市民活動サポートセンター



東北大学まなび情報誌 まなぶひと 2018.2月号(Vol.27) 2018年1月30日発行 (毎月15/30日発行)

編集・発行：東北大学総務企画部広報課社会連携推進室

連絡先：〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1

Tel : 022-217-5132 E-mail : [social@grp.tohoku.ac.jp](mailto:social@grp.tohoku.ac.jp) 【広告を載せませんか？詳しくは左記までお問い合わせください。】